

ラボ・タックス

植物由来洗淨剤を上市

業務用4アイテム順次投入

モウソウチク抽出物を配合したアルコール製剤などの販売を行うタックス・ラボは、業務用の洗淨剤・消臭剤など4製品を、「タックスクリーンTBシリーズ」として順次発売する。まずは植物由来の成分を採用した洗淨剤「エコナノ」を20日に上市した。エコナノは、マツ活性化不飽和脂肪酸の作用で汚れを分解する点が大きな特徴となっている。

先行発売されたエコナノは、モウソウチク抽出物、マツ活性化不飽和脂肪酸、オレイン酸、コシカドDEA、D-リモネン、フィチン酸、精製水と全て天然物由来の成分を使用している。生分解率は99・9%で、洗淨剤の排水により、自然に

負荷を与える心配がない。

洗淨のメカニズムが特徴で、ナノ化された活性化不飽和脂肪酸の分子運動により、汚れ成分のイオン結合を破壊・剥離する仕組みとなっている。このため、摩擦洗淨しなくても自然に汚れが落ちるという。厨房周り、ガラス洗淨、床清掃などの洗淨に適している。泡立ちが少ないため、すぎの手間がかからず、節水効果や作業効率向上が期待できる。このほかに同社は、モウソウチク抽出物製剤「ビーズ」、消臭剤「デオ」、薬用ハンドソープ「ササ」の3品を夏から秋にかけて順次発売する予定となっている。

ビーズは、同社従来品のモウソウチク抽出物製剤に

比べて幅広い除菌効果を発揮する。有効成分のモウソウチク抽出物により水滴の

ある場所でも除菌効果を示し、抗菌効果も長時間持続する。また、悪臭を消臭す

る効果もある。

デオは従来品よりも消臭力をアップさせた消臭剤で、アンセニアやトリメチルアミンに対して特に優れた効果を発揮する。「ササ」はトリクロサンによる殺菌・消毒効果とクマザサエキス、アロエエキスによる保湿効果の特徴の医薬部外品のハンドソープとなっている。